

**2001年(平成13年)3月期
決算発表説明会
(中期経営計画「WIT2000」進捗状況)**

**知恵をビジネスにする技術・情報企業
長瀬産業株式会社**

平成13年5月31日

業績の概要(連結)

(単位:億円)
(億円未満切捨て表示)

	01/03	00/03	前期比(%)	連単倍率(倍)
売上高	5,593	5,682	98.4	1.16
売上総利益	551	552	99.7	1.79
営業利益	77	81	95.1	3.40
経常利益	102	98	104.0	1.80
当期純利益	49	63	77.6	1.65
1株当り当期純利益	35.28円	44.25円		
R O E	3.4%	4.9%		

連結子会社数 : 28社

持分法適用関連会社数 : 8社

(注記: 連結対象会社の変更事項)

ナガセケムテックス(株) (旧社名 長瀬チバ(株)) ; 持分法→連結子会社

デラバルナガセ(株) (旧社名 ナガセ機械販売(株)) ; 連結子会社→持分法

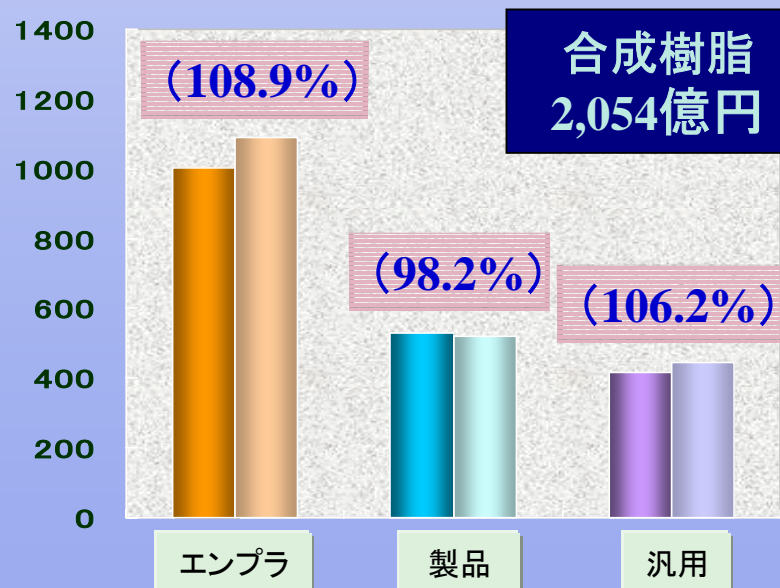
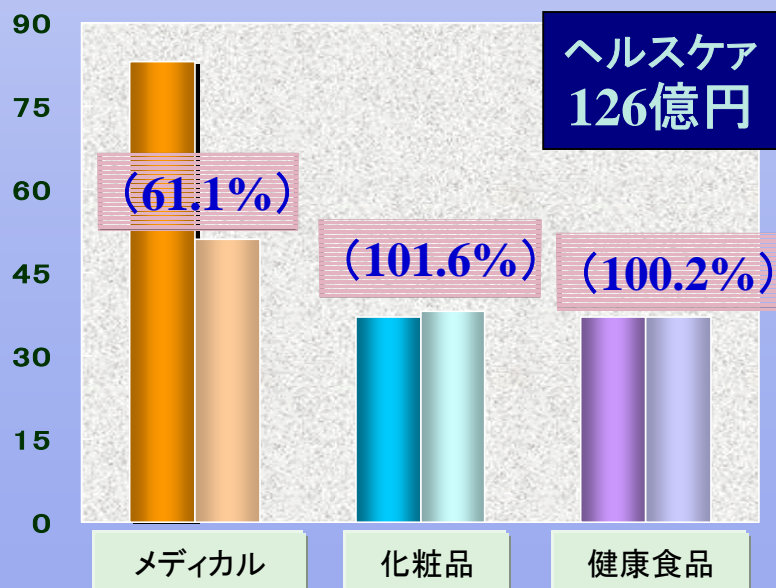
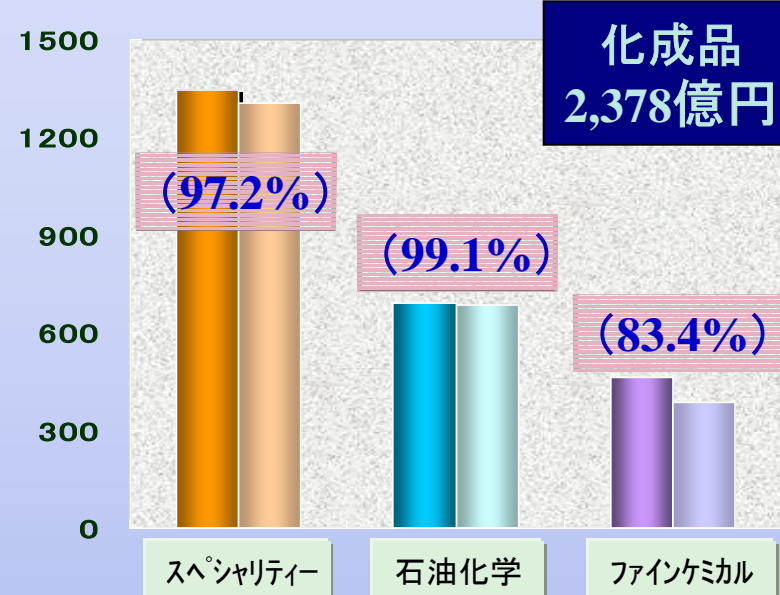
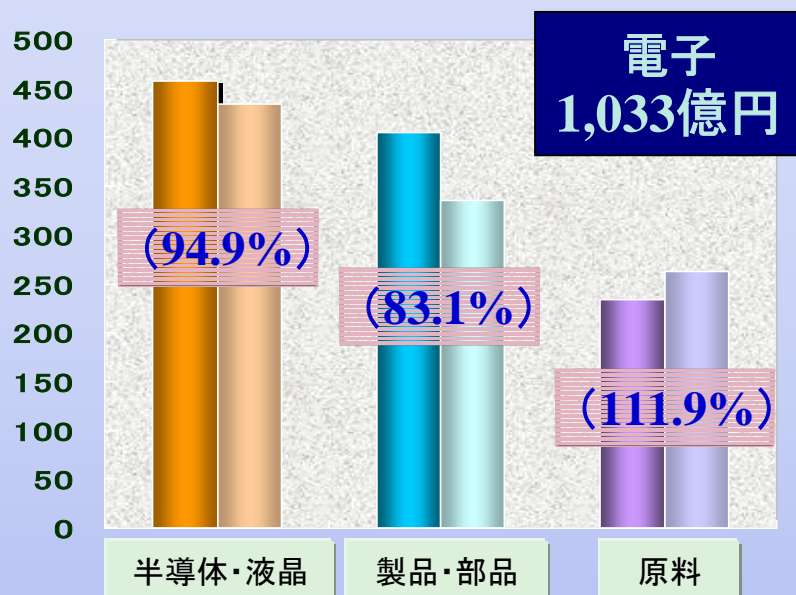
セグメント別売上高及び売上総利益

(単位:億円)

(セグメント別)	売上高			売上総利益			売上総利益率
	01/03	00/03	前期比(%)	01/03	00/03	前期比(%)	01/03
化 成 品	2,378	2,499	95.2%	198	218	90.8%	8.4%
合 成 樹 脂	2,054	1,927	106.6%	171	164	104.3%	8.3%
電 子	1,033	1,097	94.2%	148	121	122.3%	14.4%
ヘルスケア・他	126	158	79.7%	32	48	66.7%	25.7%
合 計	5,593	5,682	98.4%	551	552	99.7%	9.9%

セグメント別商品売上構成

棒グラフ; 左側(00/03末) 右側(01/03末)
()は対前年通期比較



主なB/Sの増減

(単位:億円)

〈資産〉	01/03	00/03	増減	〈負債及び資本〉	01/03	00/03	増減
現金及び預金	214	184	29	支払手形及び買掛金	1,343	1,235	108
受取手形及び売掛金	1,844	1,791	53	短期借入金	140	171	△31
有価証券	0	49	△49	コマーシャルペーパー	0	30	△30
棚卸資産	341	278	63	その他流動負債	198	161	36
その他流動資産	61	59	2	社債	70	70	0
有形固定資産	247	221	26	長期借入金	28	25	3
投資有価証券	763	490	272	(有利子負債)	(238)	(296)	(△58)
その他固定資産	64	90	△26	その他固定負債	183	61	122
				少数株主持分	38	63	△25
				自己資本	1,534	1,348	186
				(自己資本比率)	(43.4%)	(42.6%)	(0.8%)
資産合計	3,537	3,166	371	負債・少数株主持分 資本合計	3,537	3,166	371

キャッシュフローの状況

(単位:百万円)

	01/03	00/03	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,165	3,613	4,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,162	△ 2,607	△ 1,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,306	△ 28	△ 8,278
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,072	△ 418	1,490
現金及び現金同等物の増加額	△ 3,231	559	△ 3,790
現金及び現金同等物の期首残高	21,015	19,734	1,281
新規連結及び連結子会社合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	680	722	△ 42
現金及び現金同等物の期末残高	18,465	21,015	△ 2,550

主な連結子会社の業績

(単位:百万円)

	売上高	前期比	営業利益	前期比	当期純利益	前期比
ナガセケムテックス(株)	5,214	111%	654	171%	367	171%
報映産業(株)	15,565	104%	318	108%	213	140%
ナガセ生化学工業(株)	3,301	102%	329	123%	203	126%
ナガセ化成工業(株)	8,547	162%	269	108%	189	130%
ナガセプラスチック販売(株)	10,980	101%	74	88%	46	107%
帝国化学産業(株)	7,073	80%	△ 1	—	52	192%
長瀬カラーケミカル(株)	16,714	—	123	—	19	—
東拓工業(株)	7,752	104%	△ 463	54%	△ 614	105%
ナガセ香港	19,636	134%	802	144%	731	126%
ナガセシンガポール	38,469	115%	873	119%	521	122%
ナガセタイランド	10,517	139%	427	130%	318	121%
ナガセアメリカ	10,894	65%	92	68%	127	88%
カナダモールドテクノロジー	753	93%	116	168%	83	292%

業績見通し

(単位: 億円)

	2002年3月期 (予想)	2001年3月期 (実績)	前年比 (%)
売上高	5,320	5,593	95.1
売上総利益	538	551	97.6
販売費及び一般管理費	471	473	99.4
営業利益	67	77	86.4
営業外損益	28	25	110.7
経常利益	95	102	92.4
当期純利益	52	49	105.1

	売上高			売上総利益		
	2002年3月期 (予想)	2001年3月期 (実績)	前年比 (%)	2002年3月期 (予想)	2001年3月期 (実績)	前年比 (%)
化成品	2,390	2,378	100.5	189	198	95.1
合成樹脂	1,740	2,054	84.7	163	171	94.9
電子	1,050	1,033	101.6	153	148	103.0
ヘルスケア・他	140	126	110.6	33	32	101.4
合計	5,320	5,593	95.1	538	551	97.6

中期経営計画「WIT2000」

新規ビジネスの創造

計画の骨子

- ① 戦略分野(エレクトロニクス、ヘルスケア)への重点的投資
- ② グループ連結経営の重視
- ③ B/S、CF重視

(単位:億円)	00年度 実績		01年度 見通し		02年度
売上高	5,593	(5,700)	5,320	(6,090)	(6,400)
当期利益	49	(52)	52	(68)	(83)
ROA(%)	1.5	(1.5)	1.6	(2.1)	(2.5)
ROE(%)	3.4	(3.5)	3.6	(4.9)	(5.8)
N-ROE(%)	5.0	(6.0)	5.0	(6.2)	(7.0)

()は計画目標

中期経営計画「WIT2000」

新規ビジネスの創造

ナガセグループの状況
既存ビジネスの低迷
強固な財務基盤
グループ会社97社



顧客志向の徹底
技術、情報、知恵による事業展開

経営戦略

- チャレンジ戦略 事業投資の促進・新規事業育成
- ダイナミック戦略 事業の選択と集中・管理部門再編
- グループ戦略 製造会社の強化・販社の営業力強化
- 人材戦略 プロフェッショナルの育成
- 機能開発戦略 ビジネスモデルの抽出・展開による営業力強化

チャレンジ戦略

2000年度主な取り組み

会社設立

- アルファバンピングテクノロジー シリコンウエハー表面処理加工
- ハーバルケア 健康食品の店舗販売、ネット通信販売
- KNCT(タイ) 電子部品包装材料の製造販売

製造機能強化

- ナガセケムテックス 台湾にて半導体・液晶用薬液生産開始
日韓台での供給体制を確立
- 寿化成工業 HACCP対応新工場完成
- 河西工業と業務提携 自動車関連ビジネスのグローバル対応

新規事業

- 日本メディカルバンクへ出資 電子カルテ事業へ新規参入
- E-Commerce(BtoC) ナガセダイレクトでDVDソフト、
DVD-Rレコーダー販売
- プロジェクト援助制度の継続 新規事業開発活動に2億円/年の事業投資

2000年度 事業投資、設備投資 総額 109億円

チャレンジ戦略

2001年度主な取り組み

- ✦ 中国・アジアでのビジネス拡大
- ✦ 通信関連部品の強化拡大
通信基地局PAモジュール、通信用半導体、光部品
- ✦ 半導体組立て事業の総合体制の強化
NCX、アルファバンピング社、大宮設計センター等
- ✦ 在宅介護関連へ本格参入
- ✦ プロジェクト援助制度 継続

2001年度 事業投資、設備投資決定分 67億円

ダイナミック戦略

2000年度主な取り組み

● 事業分離

- ・デラバルナガセ 畜産関連機器(持分法適用)
- ・ナガセアグリテック 農業・農薬関連

● 撤退

- ・ナガセ紀正エレクトロニクス(TV部品、メキシコ)会社清算

● 管理部門効率化

- ・ナガセビジネスサポート設立 2000年10月

2001年度主な取り組み

● 管理部門効率化

- ・ナガセトレードマネジメント設立

● 低収益ビジネスの見直し

グループ戦略

2000年度主な取り組み

製造メーカー4社統合
染料販社4社統合

ナガセケムテックス発足(略称 NCX)
長瀬カラーケミカル発足

2001年度から(ナガセケムテックス)

将来像 常に高機能製品を提供する価値創造企業

2つのチャレンジ分野

・エレクトロニクス 有機合成技術からフォーミュレーション製品まで
海外事業拡大

先端技術の応用展開

・ヘルスケア

バイオ技術と有機合成技術の融合
生産機能の強化

医薬中間体・バイオ技術応用製品(醗酵生産物)の拡大

化学・電子業界

フォーミュレーション技術
01年売上目標 154億円

有機合成
技術

医薬・食品・ヘルスケア業界

バイオ技術
01年売上目標 83億円

5年後目標 売上300億円規模へ

人材戦略

2000年度主な取り組み

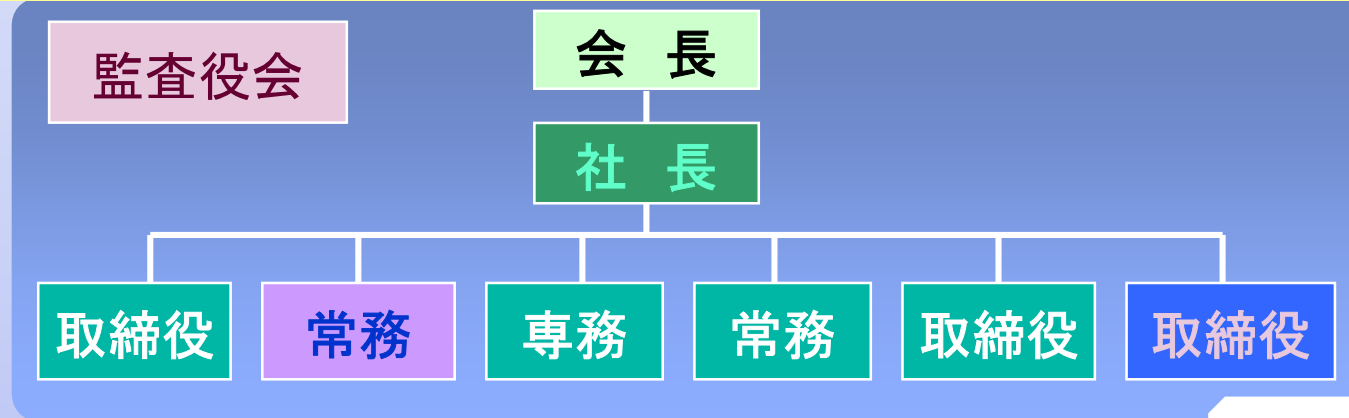
- 新人事制度導入 FA制度、公募制度など
- 海外研修制度とビジネス研修の拡充

2001年度主な取り組み

- 執行役員制度導入
- 成果主義の徹底

執行役員制度導入について

(導入の目的)意思決定の迅速化と業務執行の強化

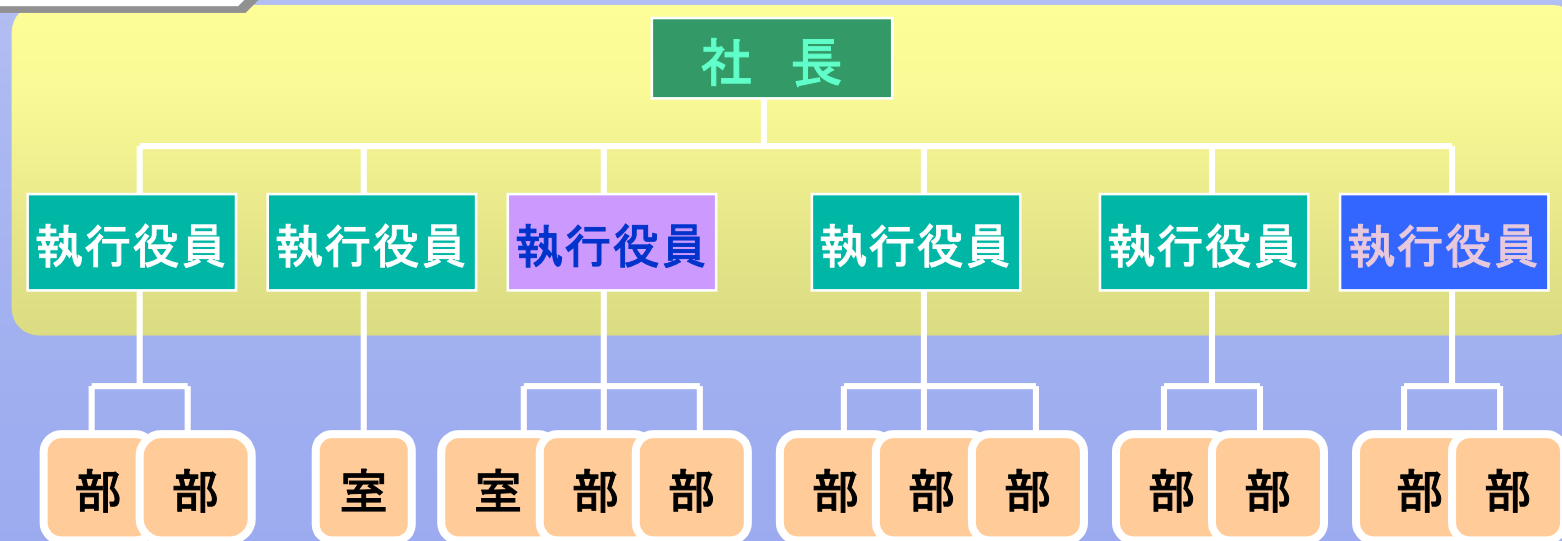


執行役員
=業務執行

戦略承認
レビュー

戦略立案
執行・報告

取締役会
=経営方針+チェック



機能開発戦略

2000年度主な取り組み

- ビジネスモデル(BM)

BMによるナガセ機能追求と事業分析
高収益モデルの知見共有

2001年度主な取り組み

- ITを利用した顧客サービス強化

～アジア・日本ビジネスネットワーク～

- 知的財産を利用した高収益事業推進

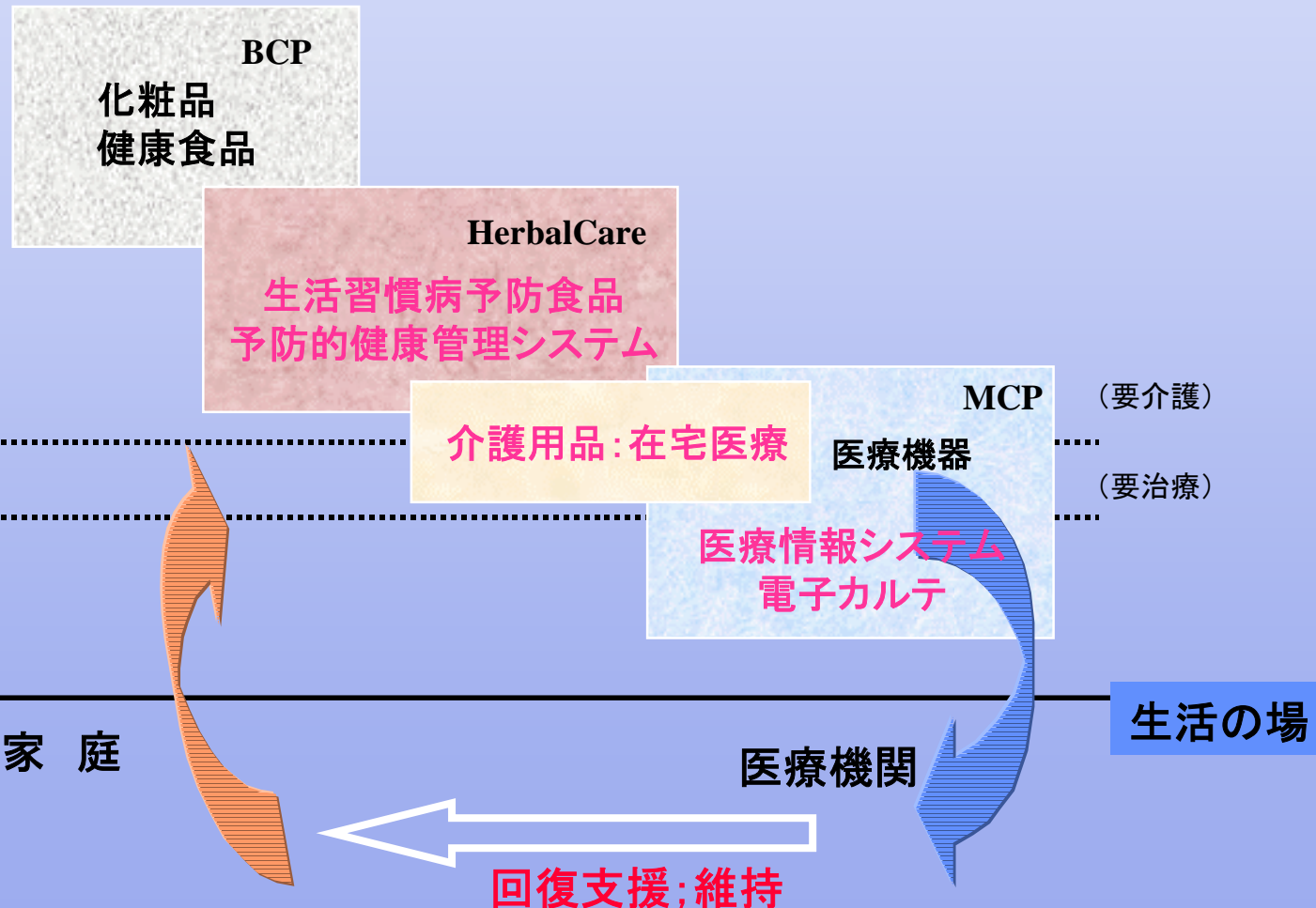
ヘルスケア事業本部の今後の事業展開

キーワード [一人一人の生涯健康プラン……QOL]

3年後目標 売上200億円へ

事業領域

健康指数



合成樹脂事業本部の今後の事業展開

組織改革：ピラミッド型組織 → フラットな組織

- 事業環境の変化に対応
- 市場・顧客ニーズへの対応 ⇒ ビジネスユニット制(SBU)の導入
- 迅速な意思決定 ⇒ 権限委譲

今後の注力ビジネス

<環境ビジネス>

- ◆ ぷらすっど
- ◆ 自然分解性樹脂
- ◆ Mg合金
- ◆ 設備

<自動車ビジネス>

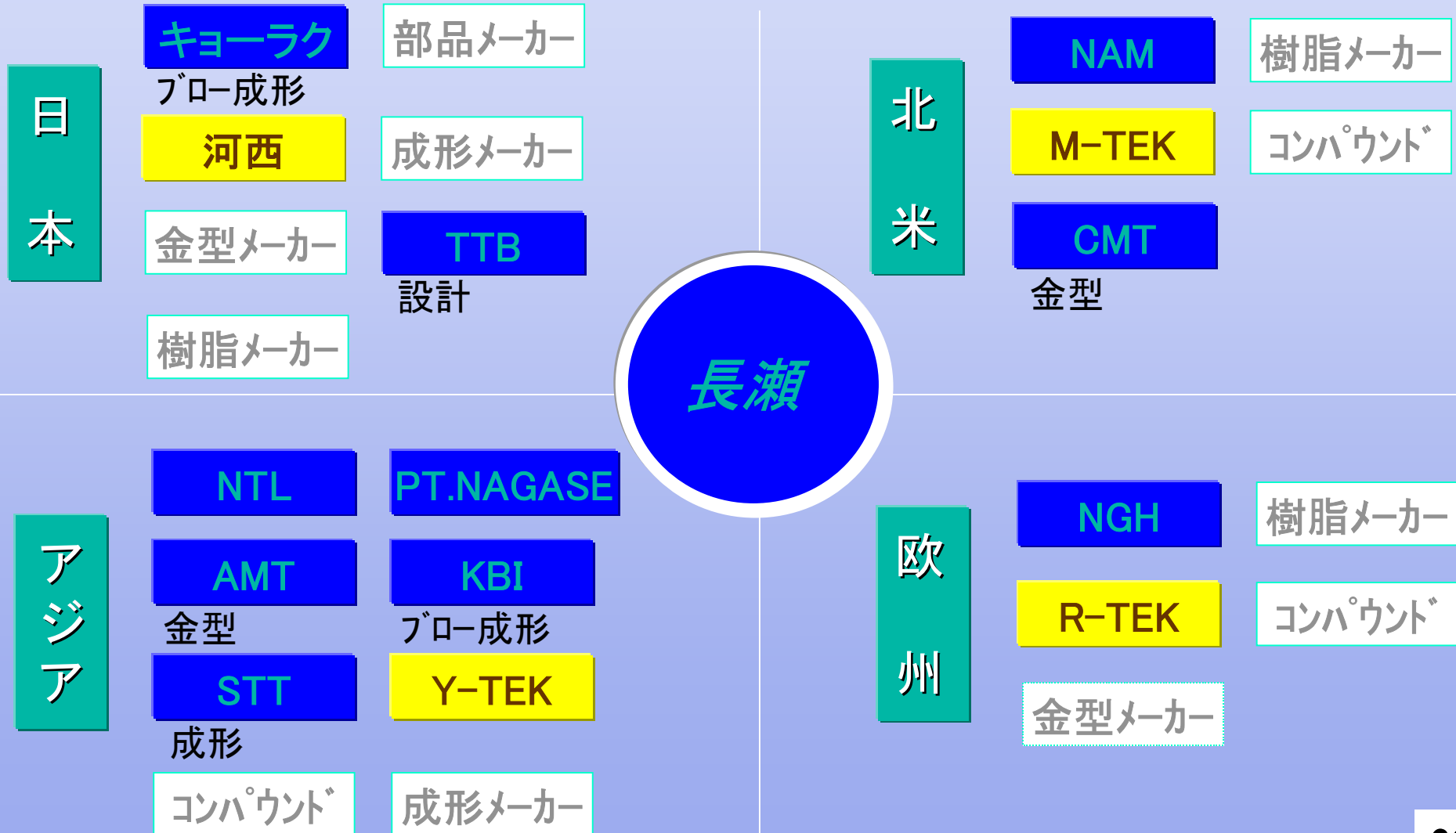
- ◆ 日・米・欧・亜でのグローバルな展開
- ◆ 設計～金型～
原材料・資材～
部品・製品

<中国ビジネス>

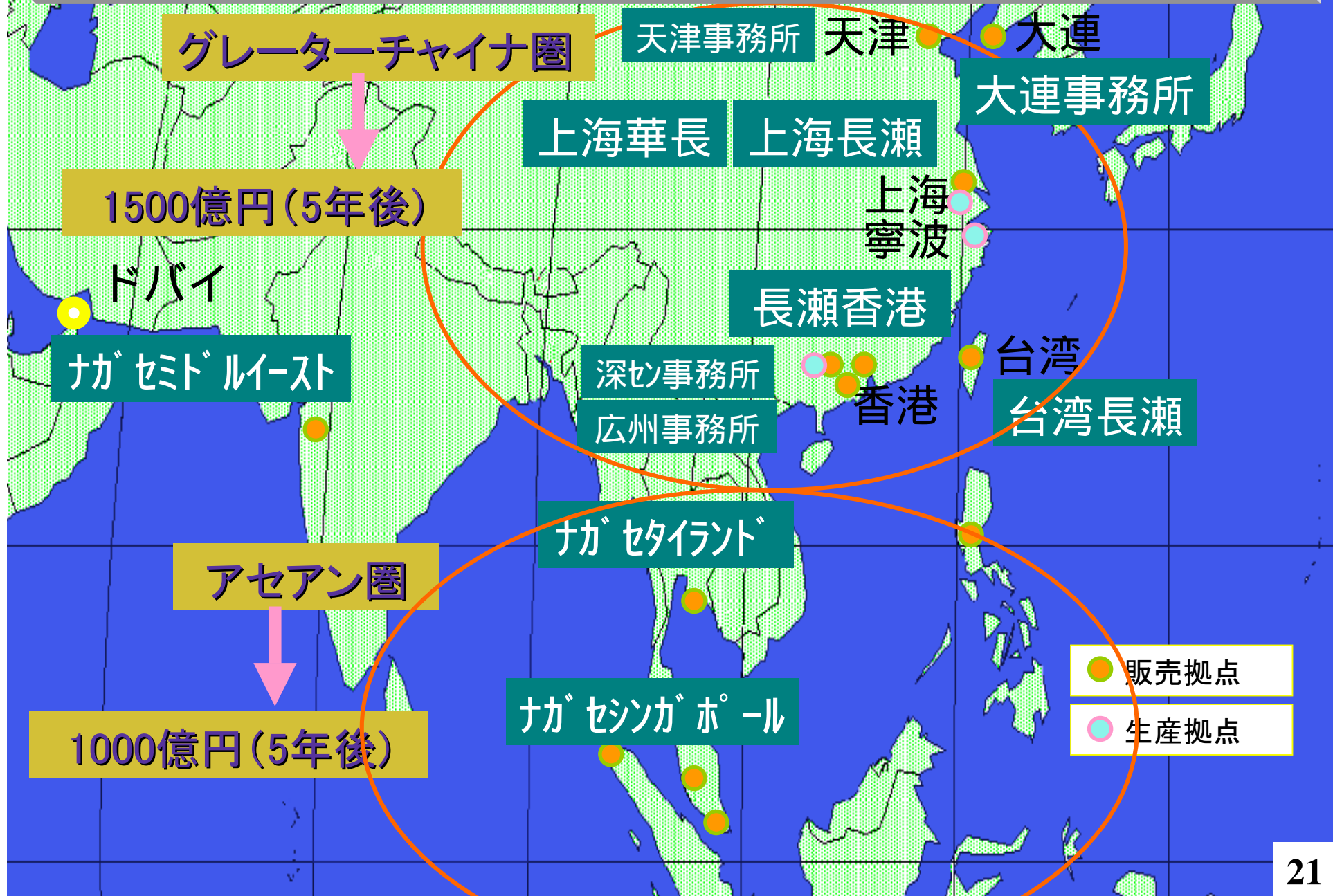
- ◆ コンパウンディング
- ◆ 電子部品包装資材の製造販売

合成樹脂事業本部の今後の事業展開

自動車ビジネスグローバル展開



アジア(中国)へのビジネス戦略



知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業株式会社

当プレゼンテーション資料には、2001年5月31日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。